



第18回定期総会報告

同窓会に積極的に参加を

第18回定期総会が去る4月29日市内中区中島町の広島工業大学 広島校舎5階講堂において開催された。例年の如く、総会開始時には役員と元役員の実験者が大部分で一般の同窓生の人は数えるぐらいの出席者しかなく、さびしい開会であった。総会はずから中原会長の挨拶で始まり、名誉会長の吉田学長の広島工大の現状についての説明があり、顧問の山本博先生の同窓会の活動と役割についての意見をのべられたのち、議長に昭和45年経営工学科卒業の峠孝司氏を選出し、昭和57年度活動報告、昭和57年度決算報告、会則の改正等の議題の順に進められたが、会則の改正の審議以外はあまり活発な意見もなく閉会した。引き続き審議部長をはじめ多数の教職員が参加され、同窓会員との懇親会が2階広間において開催され盛況に終わった。以下に総会の要約を述べる。

同窓会も発足して18年もたてば同窓生間のつながりも厚く、同窓会の活動も同窓生の意見があまり聞き入れられていないのではないかと思われるので、今後の同窓会の活動をいかに行なうか、意見を集めるために現在ある支部の代表者と広島近郊の職場の代表者を集めて意見交換を行ない、同窓会の活動の見直しを重点的に行なって行きたい。そして今までどおりの会誌、会報、名簿の発行等の活動方針案が出され承認された。又会則の改正では終身会費の3千円増、入会金の1千円増額案が出されたが、「単年度では57年度は赤字決算であり、基金の使用目的ははっきり決まっていない段階での会費の値上げはどうか」という意見があったが、採決の結果、原案通り終身会費1万3千円、入会金2千円となった。

中原会長が挨拶のなかで、今年度より鶴学園に勤務することになり、私としては会長は外部の人にやってもらいたいがなにもぶんに学園に勤めることができ、今年度一年間で後継者をそだて来年度からはその人に会長になって



りたい主旨の話があった。以下は活動報告及び活動方針を述べる。

◎昭和57年度活動報告

1. 同窓会報第16号発行
2. 準会員に対する援助(体育祭・大学祭・遠征費・卒業記念品・同窓会奨学金)
3. 同窓会誌第17号発行
4. 同窓会名簿の発行
5. 支部長および、職場代表者の集いの開催
6. 支部結成の奨励

◎昭和58年度活動方針

1. 会誌・会報・名簿の発行
2. 在学生に対する援助
3. 支部の結成、育成
4. 名簿の充実
5. 活動の見直し
 - ・組織拡充代表者会議の開催
 - ・在学生に対する援助
 - ・会計制度について
 - ・同窓会事務合理化について
 - ・同窓会法人化について



昭和58年度同窓会役員

会 長	中原重男 (38年, 鶴学園)	幹 事	伊藤秀敏 (45土, 広工大)
副会長	荒谷壽一 (47土, 荒谷建設コンサルタント)	〃	熊谷孝司 (56土, 広工大)
〃	橋田好弘 (44機, 洛陽建設)	〃	菅原展幸 (44建, 広工大)
幹事長	重広孝則 (46年, 広工大)	〃	近宗 貴 (45経, 広工大)
副幹事長	西田弘展 (45経, 広工大)	〃	広重 隆 (45経, 広工大)
〃	玉野和保 (44年, 広工大)	評 議員	八幡文伍 (45年, スポーツセンター廿日市)
会 計	菅 雄三 (50土, 広工大)	〃	永見憲吾 (42年, I G L学園)
〃	手越義昭 (48建, 広工大)	〃	森本房義 (41気, 工大附工)
〃	松広 斎 (48経, 広工大)	〃	平岡和司 (46気, 中国電力)
会計監査	湯尻 照 (39気, 広工大)	〃	猪原恵昭 (44機, 西日本シンクタンク)
〃	西野達夫 (49経, 広工大)	〃	杉島民雄 (49機, 油谷重工)
〃	道田憲治 (45経, 共管工業)	〃	砂原照雄 (46機, 油谷重工)
書 記	吉山美佐子 (58経, 広工大)	〃	近藤和博 (48土, 自営)
幹 事	村田弘志 (38年, 広工大)	〃	尾谷勇人 (54土, 中電技術コンサルタント)
〃	砂田謙二 (39年, 広工大)	〃	下 健蔵 (47建, 広島県庁)
〃	猪上憲治 (42気, 広工大)	〃	生田文雄 (47建, 広島市役所)
〃	原田義治 (42気, 広工大)	〃	峠 孝司 (45経, 広島歴清社)
〃	小西正明 (43機, 広工大)	〃	岡本世紀 (53経, 広島水道局)
〃	中西助次 (43機, 広工大)		

同窓会発展のために



会 長 中 原 重 男

会員の皆さんお元気で活躍のことと思います。今年も会長をおおせつかりました中原です、よろしく御協力をお願いいたします。

同窓会も発足以来17年、会員も1万2千名以上になりました。この大きくなった同窓会を真に皆さんのものとして発展させることが当面の課題であります。そのためには同窓会の財政基盤の確立、組織の再編制、同窓会を公的な組織にする、以上の事を最重点に本年から推進したいと考えています。

同窓会のような非公式集団を長期不動のものにするためには第一に財政基盤の確立が大切であると考えます。そのためには同窓会の基金制度の確立を計り将来はこの基金よりの利息で基本となる運動は行ないたいと考え、今までも努力をしましたが今後とも一層の努力を続けたいと考えています。

次に組織の再編制ですが、1万2千名の人が1つの集団としての結束をかためるためには組織のあり方を考え直さなければならぬと思います。その方法として支部制度の確立を計りたいと考えます。会員の誰もが何れかの支部に属しその支部を同窓会本部が統率する方法が最も強固な組織になるものと考え目下強力に推進中とござい

す。

次に同窓会を公的なものにする必要があると考えています。その理由の一つは同窓会基金制度の確立のため、公的立場を取らなければ基金制度の真の確立は困難だと思います。公的な団体とする最良の方法は法人とすることでありまして目下その研究を行っています。当面これ等の運動を最重点に進めていますので今後とも一層のご協力をお願いいたします。



副会長 荒 谷 壽 一

同窓会の結束こそ広工大の発展であり、学生の励みになると思います。微力ではございますが、今年一年よろしく御願い致します。



幹事長 重 広 孝 則

＊同窓会も母校も年々大きくなり、将来我同窓、我母校と語れるよう、一步一步前進していく、基盤造りをしたいですね。*

昭和57年度会計報告 (S57.4.1~S58.3.31)

〔決算〕

項目	収入	支出	差額
昭和57年度 総収入	12,421,921		
昭和57年度 総支出		8,865,260	
合計	12,421,921	8,865,260	3,556,661

上記残額のうち3,000,000円は別に定期預金としている。
これは次年度鶴虎太郎奨学会に預けている定期預金が満期時に入れる予定。

同窓会資産

- (1) 鶴虎太郎奨学会に60,211,433円を定期預金として預けている。

〔支出〕

項目	予算額	決算額	差額	項目	予算額	決算額	差額
会誌発行費	3,050,000	2,668,960	381,040	役員手当	77,000	63,500	13,500
会報発行費	1,240,000	934,910	305,090	支部費	722,080	722,080	0
名簿発行費	1,050,000	900,000	150,000	調査費	100,000	0	100,000
總會開催費	900,000	710,700	189,300	備品費	50,000	0	50,000
在学生援助費	950,000	600,000	350,000	委託費	428,800	428,800	0
卒業記念品代	600,000	487,350	112,650	奨学金繰込金	529,000	529,000	0
通信費	180,390	180,390	0	奨学会寄付金	100,000	100,000	0
消耗品費	350,000	164,520	185,480	予備費	660,093	0	660,093
交通費	300,000	287,230	12,770				
会議費	200,000	87,820	112,180	合計	11,487,363	8,865,260	2,622,103

なお項目、予備費から補正予算額として通信費に30,390円、支部費に322,080円、委託費に28,800円がそれぞれ加算されている。

昭和57年度 同窓会奨学会会計報告

〔決算〕

項目	収入	支出	残高
基金	2,620,175		
繰込み金	529,000		
利息	20,460		
奨学金		360,000	
寄付金	1,406,500		
手数料		29,239	
合計	4,576,135	389,239	4,186,896

昭和58年度 予 算 案

〔収 入〕

項 目	予 算 額
昭和57年度繰越金	556,661
入会金 1,000円× 881人	881,000
終身会費 13,000円× 860人	11,180,000
総会会費 2,000円× 80人	160,000
預 金 利 息	70,000
広 告 料	300,000
雑 収 入 (寄付金等)	100,000
合 計	13,247,661

〔支 出〕

項 目	予 算 額
会 誌 発 行 費	3,133,000
印 刷 費	1,123,000
郵 送 費	1,980,000
交 通 費	30,000
会 報 発 行 費	1,235,000
印 刷 費	325,000
郵 送 費	880,000
交 通 費	30,000
名 簿 発 行 費	1,100,000
総 会 開 催 費	900,000
懇 親 会	750,000
交 通 費	100,000
諸 費	50,000
支 部 費	300,000

項 目	予 算 額
組織拡充代表者会費	700,000
会 議 費	150,000
交 通 費	150,000
懇 親 費	400,000
在 学 生 援 助 費	950,000
大 学 祭	400,000
体 育 祭	300,000
遠 征 費	250,000
卒 業 記 念 品 代	600,000
通 信 費	180,000
消 耗 品 費	250,000
交 通 費	260,000
会 議 費	250,000
役 員 手 当	82,000
会 計	15,000
会 報 発 行 責 任 者	2,000
会 誌 発 行 責 任 者	5,000
名 簿 発 行 責 任 者	5,000
支 部 担 当 責 任 者	5,000
そ の 他 (日 当)	50,000
調 査 費	100,000
備 品 費	50,000
委 託 費	450,000
奨 学 基 金 繰 込 金	650,000
鶴 奨 学 会 寄 付 金	100,000
予 備 費	1,957,661
合 計	13,247,661

大学だより

〔募集人員・志願者数・受験者数・合格者数・倍率・合格最高点・合格最低点〕

昭和58年度入学試験概要

項目	学 科		電子工学科	電気工学科	機械工学科	土木工学科	建築 学 科	経営工学科	合 計
	1 期	2 期							
募集人員(1期+2期)			125	125	230	125	230	125	960
志願者数	1 期		59200	432(5)	687	288	427(2)	408(5)	2,834(5)
	2 期		113(5)	119	211	151	202(8)	157(6)	953(19)
	計		705(5)	551(5)	898	439	629(2)	565(2)	3,787(7)
受験者数	1 期		57700	426(4)	678	281	420(2)	397(5)	2,779(4)
	2 期		103(5)	115	204	143	190(7)	153(6)	908(18)
	計		680(5)	541(4)	882	424	610(7)	550(2)	3,687(17)
合格者数	1 期		226(4)	166(3)	354	137	239(4)	153(9)	1,275(3)
	2 期		20(2)	34	30	46	85(3)	19(2)	234(7)
	計		246(6)	200(3)	384	183	324(7)	172(1)	1,509(10)
倍 率	1 期		2.6	2.6	1.9	2.1	1.8	2.7	2.2
	2 期		5.7	3.5	7.0	3.3	2.4	8.3	4.1
	計		2.9	2.8	2.3	2.4	1.9	3.3	2.5
合 格 最 高 点	1 期		283	256	280	247	257	250	
	2 期		281	252	286	248	279	271	
合 格 最 低 点	1 期		183	166	138	130	130	148	
	2 期		232	198	205	173	163	211	

〔都道府県別 志願者数・受験者数・合格者数〕

種 別	1 期			2 期			計			種 別	1 期			2 期			計		
	志	受	合	志	受	合	志	受	合		志	受	合	志	受	合	志	受	合
栃 木	1	1	1				1	1	1	広 島	1,554 (3)	1,535 (3)	711 (2)	612 (5)	592 (5)	139 (5)	2,166 (4)	2,127 (4)	850 (2)
東 京	2	2	0	1	1	0	3	3	0	山 口	256 (5)	251 (5)	117 (3)	61 (1)	57 (1)	14 (1)	317 (6)	308 (6)	131 (4)
千 葉	2 (1)	2 (1)	0 (0)	1	1	0	3 (1)	3 (1)	0 (0)	香 川	48 (3)	46 (2)	18 (0)	7 (1)	5 (0)	1 (0)	55 (4)	51 (2)	19 (0)
静 岡				4	4	0	4	4	0	徳 島	18	16	2	18	15	6	36	31	8
愛 知	3	2	0	1	0	0	4	2	0	高 知	12 (1)	12 (1)	1 (0)	4	3	1	16 (1)	15 (1)	2 (0)
福 井	1	1	0	1	1	0	2	2	0	愛 媛	314 (5)	308 (5)	166 (3)	87 (1)	85 (1)	32 (1)	401 (6)	393 (6)	198 (4)
滋 賀	4	4	1				4	4	1	福 岡	101	98	44	20	17	3	121	115	47
三 重	2	2	1	1	1	0	3	3	1	佐 賀	21 (2)	19 (1)	9 (1)				21 (2)	19 (1)	9 (1)
京 都	9	9	2	2	1	0	11	10	2	長 崎	40 (1)	39 (1)	23 (1)	3	3	1	43 (1)	42 (1)	24 (1)
和 歌 山	2	2	0	2 (1)	2 (1)	0 (0)	4 (1)	4 (1)	0 (0)	熊 本	4	4	1	1	0	0	5	4	1
大 阪	7	7	2	13	13	5	20	20	7	大 分	39	37	22	5	3	2	44	40	24
兵 庫	39	39	11	14	14	6	53	53	17	宮 崎	24	22	5	6	4	1	30	26	6
鳥 取	41	37	14	1	1	0	42	38	14	鹿 児 島	25	25	10	6	6	2	31	31	12
島 根	82 (1)	82 (1)	43 (1)	21	20	6	103 (1)	102 (1)	49 (1)										
岡 山	183 (1)	177 (1)	71 (1)	61	59	15	244 (1)	236 (1)	86 (1)	計	2,834 (5)	2,779 (4)	1,275 (3)	953 (19)	908 (18)	234 (7)	3,787 (7)	3,687 (17)	1,509 (10)

注 1. 表中 志は志願者数, 受は受験者数, 合は合格者数。2. () 数字は女子学生内数。



〔工学部〕 (男女共学)

電子工学科…… 125名 電気工学科…… 125名 機械工学科…… 230名
土木工学科…… 125名 建築学科…… 230名 経営工学科…… 125名

広島工業大学

昭和58年度入試	1 期 試 験	2 期 試 験
試 験 日	2月5日(日)	3月8日(木)
出 願 期 間	1月17日(火)~ 1月28日(土)	2月22日(水)~ 3月1日(木)
合格発表日	2月14日(火)	3月14日(水)
試 験 科 目	数 学 数学Ⅰ・数学ⅡB	
	理 科 物理(Ⅰ・Ⅱ)のいずれかを 化学(Ⅰ・Ⅱ)選択	
試 験 場	外国語 英語B	
	第1期 本学(広島) 松山(松山商科大学) 岡山(岡山商科大学) 福岡(福岡大学高宮校舎) 大阪(大阪歯科大学)	
	第2期 本学のみ	

〔卒業後の取得資格〕

1. 教員免許
卒業生は、在学中に教職課程を修得することにより、高等学校教諭2級普通免許状(工業)の交付を受けることができる。
2. 電気事業主任技術者
電気工学科・電子工学科の卒業生は、在学中に指定された授業科目を修得し、卒業後所定の実務経験を経ると、電気事業主任技術者免許状が取得できる。
3. 電気工事士
電気工学科・電子工学科の卒業生は、在学中に指定された授業科目を修得することにより、電気工事士試験のうち学科試験が免除される。
4. 測量士補・測量士
土木工学科の卒業生は、卒業と同時に測量士補の無試験登録、卒業後1年の測量実務を経ると、測量士の無試験登録ができる。
5. 建築士
建築学科の卒業生は、卒業と同時に二級建築士試験を、また卒業後2年以上建築に関する実務に従事した場合は、一級建築士試験を受験できる。
土木工学科の卒業生は、卒業後1年以上建築に関する実務に従事すると二級建築士試験を、また卒業後2年以上建築に関する実務に従事した場合は、一級建築士試験を受験できる。
6. その他
卒業生は、上記以外の国家資格試験において、受験資格が与えられるもの、あるいは、試験科目の一部が免除されるものがある。

〔奨学制度〕

名 称	支 給 額	返還義務
鶴学園特待生	授業料 施設設備資金 全額免除	無
(財)鶴奨学会	(年額) 54,000円	無
広島工業大学同窓会	(年額) 36,000円	無
日本育英会	一般 (月額) 27,000円	有
	特別 自宅(月額)29,000円 自宅外(月額)39,000円	
その他、地方公共団体・民間育英団体の奨学制度がある。		

〔お問い合わせ先〕

〒731-51 広島県佐伯郡五日市町三宅725 TEL (0829)21-3121代

広島工業大学 入試係 (入試要項 千共 640円切手)

人事関係

技術職員 技師補 梶谷 俊夫
警備員 東久保武三

新任教職員

(1) 昭和58年6月現在

教授 村上満洲男 (一般教育)
教授 武藤 時雄 (電子工学科)
教授 小塩 高文 (電子工学科)
教授 寺谷 忠郎 (機械工学科)
教授 佐藤 重夫 (建築学科)
助手 坂井 学 (一般教育)
助手 伊藤 尚 (機械工学科)
助手 玉田 一雄 (機械工学科)
助手 藤山純一郎 (機械工学科)
助手 吉山美佐子 (経営工学科)
事務員 佐野 秀雄 (図書館)
技術職員 技師補 大木 忠 (機械工学科)

退任 (昭和58年3月31日付)

教授 石田 重美
教授 松山 常雄
教授 堀田 秀次
教授 石光 勝
教授 村上満洲男
教授 木村 恵雄
助教授 城 太郎
助教授 山崎 弘行
助手 林 徹治
助手 村本 和久
助手 野本 格
助手 山口真理子
図書館事務長 柳原 尚
庶務課長 広間 千一
学生部事務員 塩治 菊枝

大学会館竣工間近か

現在、元神社地の新4号館の裏に大学会館が建設中で10月末に竣工予定です。この建物は地下一階地上4階(一部2階)で大学の厚生関係の施設として利用されます。各階の様子は大略つぎのようになっています。

- 1階：食堂
- 2階：学生の憩いの場
- 3階：保健センターを含めたゾーン
- 4階：多目的ホール(会議等に利用)

大脇健一先生執筆の本 出版さる!

大脇先生は此度下記の本を出版されます。現在印刷中ですが、先生の研究および創造性についてのユニークな体験が記されており、会員の皆様にも大いに役立つものと思います。是非読んで下さい。

- *研究放浪記*, トップラン印刷出版
一先生の研究生生活の半生を随筆風にまとめられたものの一
- *みんなで考えよう*, 中国新聞社出版
一子供の創造性の開発についてのユニークな考え方をまとめられたもの一

春の叙勲

広島工業大学教授 縄田二郎先生
勲三等瑞宝章
広島工業大学教授 曾根田彰先生
勲四等瑞宝章

準会員だより

クラブ紹介一

クラブ名	学生代表	連絡先
柔道部	佐々木 喜代治	廿日市町新宮1丁目10-58 筒井様方 TEL(0829)31-0208
空手道部	谷中英明	広島市中区舟入中町3-30 TEL(082)231-2817
合気道部	生越 栄一	廿日市町廿日市2丁目4-5 TEL(0829)31-0225
少林寺拳法部	平田 邦浩	五日市町屋代中田233 河内青恒苑 TEL(0829)22-7109
剣道部	丸本 真司	広島市南区楠那町12-8 TEL(082)253-3147
弓道部	加古山 茂	五日市町中地720 日和野様方 TEL(0829)28-0123
重量挙げ部	森原 秀逸	広島市南区北大河町29-13 TEL(082)283-5583
ボクシング部	三浦 秀雅	五日市町中央5丁目 川西様方 TEL(0829)22-1822
スキー部	浜本 淳	五日市町坪井440 桜井寮 TEL(0829)22-4968
水泳部	福田 幸男	五日市町屋代411 網本様方 TEL(0829)22-0057

クラブ名	学生代表	連 絡 先
スケート部	栢田政一	五日市町上河内696-2 TEL(0829)28-0766
バドミントン部	徳田雅生	廿日市町宮内串戸中区196-2 高見アパート TEL(0829)32-8192
バスケットボール部	高治勝也	五日市町屋代62番地 屋代寮 TEL(0829)23-2615
バレーボール部	谷本博信	広島市東区二葉の里2丁目2-26・505号 TEL(082)264-2457
ハンドボール部	重本孝之	五日市町屋代83-2 浜田様方 TEL(0829)22-0408
卓球部	山本正明	廿日市町佐方3丁目6-3 河村様方 TEL(0829)32-7301
硬式野球部	藤田修	広島市中区住吉町14-9 TEL(082)243-7471
軟式野球部	藤本和美	五日市町楽々園1-1-22 藤田様方 TEL(0829)21-3662
硬式庭球部	原口明登	五日市町楽々園1丁目4の7あかつき荘 TEL(0829)23-6294
軟式庭球部	須崎康義	五日市町大字三宅632の3 TEL(0829)23-5619
アーチェリー部	井上忠	五日市町中央1丁目15-17 笠岡アパート TEL(0829)22-2846
射撃部	清水博司	五日市町屋代62 屋代寮 TEL(0829)23-2615
陸上競技部	船津和博	五日市町屋代237-51 TEL(0829)32-3556
サッカー部	前河内毅	広島市安佐南区佐東町八木3071 TEL(082)873-2902
ラグビー部	佐々木幸一郎	呉市八幡町5-19 TEL(0823)22-0130
自動車部	伊藤尚	五日市町屋代62 屋代寮 TEL(0829)23-2615
サイクリング部	和田英喜	五日市町中央5-2450 小原荘 TEL(0829)23-1322
ニュースホステル部	黒谷文彦	広島市東区牛田本町6丁目2-8-502 TEL(082)223-0181
ワンダーフォーゲル部	垣中祐二	呉市和庄2丁目5-17 TEL(0823)21-9883
山岳部	岸野浩二	安芸郡江田島町12214 TEL(0823)44-1611
ボート部	宗田匡央	広島市西区庚午南1丁目36-1 TEL(082)271-9769
ヨット部	下野光博	安芸郡江田島町10634-1 TEL(0823)43-0804
正同術同好会	岡崎喜久雄	五日市町五日市4丁目12-21 TEL(0829)23-5726
ゴルフ愛好会	橋本雅雄	広島市南区翠5丁目21-26 TEL(082)253-6858
馬術愛好会	坂本徹郎	五日市町屋代438-6 TEL(0829)22-4969
エスキーツニス愛好会	右手邦雄	五日市町中地793 竹内様方 TEL
基礎スキー愛好会	二反田守	

体育会だより

第22回体育祭を振り返って

今年で第8期を迎えた体育会は、「スポーツの普及」の目的を達成するため、ソフトボール大会などのさまざまな行事を行っています。行事と言えば、体育会最大の行事は、何と言っても体育祭です。今年で22回を数えた体育祭ですが、内容は去年とはほぼ同様、各競技を中心とし、クラブ展、スポーツ講演会を行いました。今年のテーマは、「VICTORY」ということで、ただ参加するだけでなく、もう一歩踏みこんで、勝つことを目的として参加することを目指して行われました。今年は、教職員チームの活躍が光り、学生はまたもや経営の総合優勝で幕を降ろしました。

体育祭結果報告

○学科別	○クラス別
1位 経営工学科	1位 経営工学科4年
2位 土木工学科	2位 土木工学科1年
3位 建築学科A	3位 建築学科A4年
○種目別	
★バスケットボール	★サッカー
1位 土木1年	1位 建築A4年
2位 電気1年	2位 土木2年
3位 土木4年	3位 経営4年
★卓球	★テニス
1位 経営4年	1位 教員A
2位 経営2年	2位 教員C
3位 電子1年	3位 建築A4年

★ソフト

- 1位 土木3年
2位 経営4年
3位 電子3年

★バレー

- 1位 教員
2位 電気4年
3位 経営2年

詳細結果は以上のとおりでした。

教職員の方々を始めとする、関係者の皆様のおかげさまで、何とか体育祭も無事終了することができました。厚く御礼を申し上げます。

しかし、改めて体育祭をふり返ってみて、各競技、クラブ展それぞれは盛大に行われたようでした。しかし体育会としての体育祭が本当にこれで良いのでしょうか？全工大生の数から見れば、真に体育祭に参加した人はごくわずかなのではないのでしょうか？という学生が悪いという訳ではありません。これから先、体育会は時代の流れに応じて、今、学生は何を求め、何を欲求しているかを、常に追求め、これからの活動の指針とし、よりよい体育会となるよう頑張りたいと思います。



文化局だより

文化局も今年で第21期を迎えました。

諸先輩方の伝統を受継ぎ、新しい分野を開拓し、工大文化の発展を祈って文化系サークル員一同、日夜努力しております。

現在、文化系サークル員400名、サークル数25です。

- 技術系サークル 科学部、無線部、基礎理論部、鉄道研究会
 - 音楽系サークル マンドリン部、軽音楽部、グリークラブ、ロック部、フォーク部
 - 芸術系サークル 美術部、書道部、写真部、映画研究会放送部
 - 一般系サークル 茶道部、ESS、囲碁将棋部、落語研究会、吟道同好会、生物愛好会、アイデア研究会、天文研究会、赤十字奉仕団、超心理研究会、AIC
- この4つの部門にそれぞれ技術幹事、音楽幹事、一般幹事芸術幹事がとめ役としてついています。そして6月～7月にかけて文化局主催の二大行事である芸術展と第18回定期演奏会を予定しています。まず芸術展は芸術系サークルを中心に6月16日から21日まで広島県立美術館で、日ファミリーホールで、一般系サークル、芸術系サークルによる第5回学内文化展を予定しております。

また、7月1日、音楽系サークルによる第18回定期演奏会を広島郵便貯金ホールにて開催いたします。この二大行事に向かって役員はもちろん、出演、出品するサークルも数ヶ月前からがんばっています。

この記事を読まれるころは、全て行事は終了していると思いますが、近くに用事がございましたら、是非クラブハウスの方に遊びに来てください。サークル員一同楽しみにまっております。

北から南から支部だより

○職場支部総会だより

広島工業大学同窓会中国電力機職場支部長 可知 英樹 同窓会員の皆さん、今日もそれぞれの職場で御健闘のことと思います。私連中国電力株式会社職場支部では、今春母校を卒業した3名の仲間を迎え、総勢20名を数えるに至りました。厳しい社会状況ではありますが、順調に増え続ける後輩達を見ると、母校広島工大の活力が感じられてきます。

さて、私連中国電力株式会社職場支部は、昭和54年に11名の仲間が発足しましたが、会員の勤務地が中国5県ならびに東京に散在していることもあり、広島に在住者が主体となって会の運営を行ってまいりました。はやく全員そろって顔合せをしたいと思っていましたが、やっと先般4月30日、第1回の支部総会を宮島の当社保養センターにて開催することができました。会員20名中17名の出席があり、中国地方管内はもとより、東京からの参加もありました。母校からは多忙の中、電気工学科の本田公郎先生、機械工学科の小西正明先生の出席を得、当支部の一層の結束がなされた会合でした。

総会は、同窓生とはいえ初対面の人も多く、自己紹介に始まりました。当支部は小人数ながら、同窓生の出身学科は電子、電気、機械、土木、建築とバラエティに富んでおり、紹介では、それぞれの職場で専門分野の腕をふるっている様子とか、趣味、家族構成など、のろけも主立ったスピーチがなされました。自己紹介の後、支部規約の改正等予定時間を超過する審議となりましたが、ひととりの議事を終え、懇親会に移りました。はじめはごちなく、とりよりました感じでしたが、時の経過とアルコールと共に、話題も豊かになり、思い出話に近況報告、今後の抱負等々



なごやかな雰囲気のもとに話に花を咲かせました。続いて、小西先生の持参された母校の近況を写したスライドが上映され、四季折々のキャンパスの様子、古くからある建物、最近できた建物等に懐かしがったり、びっくりしたり時の経つのも忘れる程楽しく有意義な会合でした。

最後に同窓会員の皆さん、お互いの交誼を厚くし、相互の発展及び、母校の発展のためにも、支部活動を強化し、工大同窓生のパワーを発揮していくことはありませんか。

同窓会本部だより

◇同窓会活動方針の一つ、支部結成 奨励、支部活性化呼びかけ◇

◎地域・県・職場支部の支部結成手続き方法の紹介

ここ数年、毎年の活動方針の一つとして、支部結成をすすめてきております。

同窓会本部として最も大きな仕事は会員名簿の充実と思われまふ。その会員の状況をつかむためにも、地区、地域、県、職場グループでの連絡網が大切となります。

本部としては、少しでも多くの支部が結成され、同窓生の縦と横のつながりができ、その絆が広がってゆき、各地から支部結成のニュースが聞かれますようお願いしております。

何らかの形で同窓生の集いを持たれたり、そのような集いを持つという気運が生じた時には、至急同窓会本部まで御連絡下さい。手続きのようすなどを説明させていただきます。

《支部結成のために必要とされる手続き》

- 1) 支部結成発起人(卒業年度、学科、氏名)
- 2) 支部内同窓生氏名(同上)
- 3) 支部則原案(支部則見本を地区、県、職場支部ごと別々に作成していますので、参考にして下さい。)
- 4) 支部本部となる連絡場所…連絡先、住所、電話番号記入
- 5) 正式に支部として承認されましたら支部則にもとづき支部長、副支部長、会計その他の役員名を本部に届け。支部結成のための連絡場所

〒731-51 広島県佐伯郡五日市町三宅725

広島工業大学同窓会本部事務局

Tel (0829) 21-3121

職場支部結成の為に必要とされる手続き用紙(見本)

1 職場名

2 職場所在地

電話

3 発起人氏名(代表者2名以内)

氏名	卒業年度	学	科	社内連絡先

4 支部として運営する為の役員(支部則例を参考にして下さい)

支部長	副支部長
幹事長	幹事
会計	書記

5 名簿

氏名	卒業年度	学科	現住所	(TEL)

現在までの支部報

○地区支部……3 ○県支部……4 ○職場支部……11
詳細は会誌17号(S58.3.10発刊)P18支部結成状況図参照……(昭和58年6月現在)

会費の値上げ

此度の総会にてつぎのように会費が改正されることになりました。

入会金：1,000円から2,000円

(昭和59年度入学生から実施)

終身会費：10,000円から13,000円

(昭和58年度卒業生から実施)

同窓会奨学金資金募集

1. 金額：1口1,000円
2. 送付方法：郵便振替口座番号 広島5956 書留その他
3. 送付先：〒731-51 広島県佐伯郡五日市町三宅
広島工業大学同窓会奨学金資
同窓会奨学金の寄付のお礼

現在の同窓会の活動を今後同じように続けていくならば財政的に苦しくなることが、今度の総会で会長から述べられました。そうした折に、同窓会奨学金の充実、発展のために、会員の皆様からの寄付を賜わり、役員一同の大きな希望となっております。心から御協力に感謝いたしますとともに、今後ともよろしく御願い申し上げます。尚、今年度の給付希望者は約80名で、その内10名が奨学生として採用されました。

“同窓会々員名簿について”

同窓会々員名簿(昭和58年3月発行)のご利用の方は、ハガキに下記の必要事項をご記入の上、同窓会事務局にお申し込み下さい。

なお、料金は名簿と同封してあります振替用紙をご利用下さい。

送料は同窓会へ負担致します。

金額 1冊 1,500円

記

○送付先住所

○氏名

○卒業年度

○卒業学科